

JAL被解雇者労働組合（JAL 争議団）

info@jhu-wing.main.jp

<https://jhu-wing.main.jp/>

10/15 職場要求を会社に提出

現役の客室乗務員が組合加入

2024年10月15日、JHU（JAL被解雇者労働組合）は会社に対し、現役の組合員加入の通知とともに、下記'24年末要求を提出して、団体交渉の申し入れを行いました。今後、会社と交渉し、各要求の実現に向け全力で取り組みます。

<2024年年末要求>

1. 客室乗務員に関する要求

(1) 安全

- ① 空港に手荷物摘み取りのための地上係員を増員すること。
- ② 機種毎に地上滞在時の標準作業時間を明示すること。また、各機種の現行グラウンドステイタイム（A350/50分、B787/45分、B767/40分、B737/35分）を少なくとも5分追加し改めること。
- ③ 客室乗務員の最小編成数はドア数と同数以上にすること。
- ④ 編成内の新人（チェックアウト6ヶ月まで）数を以下の通り制限すること。
 - ・ A350（9人）中：2人
 - ・ B787（8人）中：2人
 - ・ B767（6人）中：1人
 - ・ B737（4人）中：1人
- ⑤ B737のO/Wに客室乗務員1人を配置すること。

(2) 勤務

- ① 4日勤務後1Hのパターンは廃止すること。
- ② 韓国線を除く近距離国際線の日帰りを廃止すること。
- ③ FRMを基準とする勤務体系の確立に向け組合と協議すること。
- ④ 一連続乗務を中断する場合は連続した6時間以上の睡眠時間を確保すること。

(3) 賃金

- ① '24年末一時金は3ヶ月+20万円を支払うこと。
- ② 職種間の基本賃金格差を是正するため、基本賃金テーブルを地上職と同等にすること。
- ③ 乗務手当（50時間保障）および諸手当を2011年4月以前に戻すこと。
- ④ 休日のiCoを使用した業務を勤務時間として管理し、勤務手当を支払うこと。
- ⑤ 60歳以降の賃金切り下げをやめ、同一労働・同一賃金とすること。

- (4) サービス関連
 - ① Any Time You Wish サービスはやめること。
 - ② 国内線の機内販売品は中止し、オンライン販売とすること。
- (5) メンタルヘルス管理
 - ① ストレスチェックの結果を公表し、不安全要素となる課題を組合と協議すること。
- (6) 評価制度
 - ① 人事考課制度は廃止すること。
- (7) その他
 - ① 夏休み（SV）3日を復活させること。
 - ② クォーター制度を導入し、プロパー男性客室乗務員の採用を増やすこと。
 - ③ 65歳以上の希望者については雇用継続を行うこと。

2. 労働組合事務所、掲示板の貸与、社内での組合ニュース配布、経営協議会開催に関する要求

- (1) 4労組（JAL労働組合、日本航空乗員組合、日本航空キャビンクルーユニオン、日本航空ユニオン）と同様に、JAL被解雇者労働組合に対し、社内に労働組合事務所ならびに掲示板を貸与すると共に、客室乗務員のメールボックスに組合ニュースを配布させること。
- (2) 4労組と同様に、JAL被解雇者労働組合と経営協議会を開催すること。

3. 解雇争議に関する要求

- (1) 解雇争議を早期に解決すること。

以上

12月20日 JAL 本社大包围行動

=お知らせ=

JHUは12月20日にJAL本社大包围行動を予定しています。

解雇から13年目の昨年12月22日の大包围行動には、解雇争議始まって以来過去最高の支援者に集まっていたいただき、解雇争議の早期全面解決に向け、参加者全体で会社を包围していることをアピールすることができました。

14年が過ぎようとしています、会社は解決の姿勢を一切見せようとしていません。本年12月20日の大包围行動にも多くの方に参加を呼びかけ、JALを大包围する行動を成功させ、一日も早い争議解決をめざします。多くの方に参加いただきますよう、よろしくお願い致します。

